佐井口、東井の左の口40日

169,303 円

169,303 円

平成20年度事務事業評価表						TF成日 : 平成20年9月 19日		
評価対	付象年度: 平	^I 成	19 <mark>年度</mark>	一次20千反争物争未计叫仪		管理	3-8-1-7	
事務事業名あだち地方障害者自立支援審査会参画事業							生活福祉部	
予算	会 計		科目コード	予算細目名	障害程度区分認定事業	課等名	保健福祉課	
科目	一般		01-030102004	細々目名		係 等 名	社会福祉係	
政策体系	基本目標	3 共に支えあうやる		しいまちづくり		_		
	施 策	8	障がい者保健・医	療・福祉対策の	充実			
PH-VJV	基本事業名	1	障害者の自立支援					
2 市			1村で共同で審査会設	置への参画	負担金の納入			
哥	事業概要							

事	事業概要	2市1村で共同で	で審査会設置への	の参画	負担金の	納入			
舅	· 尾施内容								
根	拠法令等	あだち地方障害者 約・あだち地方[事業の種類 評価区分	□維持管理 □事前評価		□ 義務的事業 事後評価	☑その他事業
重点	事業区分	□重点事業	事業実施期間	■ ☑ 紭	£続 □単年	度 □期	間限定(年度	~ 年度)
; †	1 報酬		円	11 消耗品費	_	円	15 工事請	負費	円
決	7 賃金		円	12 役務費		円	18 備品購	入費	円

円 13 委託料

円 14 使用料及び手数料

9 旅費 1 . 事務事業の現状把握 (Do)

(1)事務事業の目的と手段

対象(誰を、何を)

8 報償費

算

あだち地方障がい者自立支援審査会

手段(事業の具体的な内容、手順等)

第1合議体(二本松市運営)・第2合議体(本宮市運 営)の2つの審査会の運営に係る経費を2市1村で負 担する。

意図(対象を、どのような状態にしたいのか)

あだち地方障がい者自立支援審査会を支援すること で、障がい程度区分の認定審査会の安定的開催が出来 る。

活動指標名・式(アウトプット) 活動の大きさを表す指標 指標 名称 第 1 合議体開催回数

円 19 負担金補助及び交付金

計

合

(1) 指標 名称 第2合議体開催回数

(2) 式

(2)

式

成果指標名・式(アウトカム) 意図の達成度を表す指標

名称 障がい程度区分認定者数(本宮市分) 指標 (1) 名称 指標

事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか

地域格差のない障がい程度区分の認定審査ができる。

(2)指標・総事業費の推移

(-) The last man was the property of the prope										
			区分	単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	年度 (最終目標)
	活動指標(1)		回				11	12		
指			動指標(2)	回				9	12	
標			は果指標(1)	人				24	40	
		成果指標(2)								
		財	国・県支出金	千円				70		
	事	源	地方債	千円						
投	業	内	その他	千円						
	費	訳	一般財源	千円				99	313	
入			事業費計(A)	千円				169	313	
	人		職員数	人				0.3	0.3	
量	件	人	件費平均額(年)	千円				8,373	8,373	
	費		人件費計 (B)	千円			0	2,512	2,512	
		総	事業費 (A+B)	千円		0	0	2,681	2,825	

(3)事務事業の環境変化・市民の意見等

事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか?

平成18年4月から障害者自立支援法が施行された。

この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?

特になし

本宮市行政評価システム 2.事務事業の評価 (Check)

	·								
		[目的妥当性評価]							
	施策体系との整合性	市が行なう必要性	対象・意図の妥当性						
	☑有 【理由 】	☑有 【理由 】	☑有 【理由 】						
	□無 【理由 , 改革改善案へ】	□無 【理由 , 改革改善案へ】	□無 【理由 , 改革改善案へ】						
	字类要求各担于2.5 kg 安全的任家		マネクの字句が即はは						
		制度上市が設置することになる。共同	審査会の安定的な開催は、障がい者の						
	査会が開催でき、障がい者の福祉の向	設置も出来ることから、2市1村で共	福祉の向上につながるため妥当であ						
	上に結びつく。	同設置した。	る。						
		[有効性評価]							
評	成果の向上余地	事業の中止・廃止による影響	類似事業との統廃合の可能性						
яT	□有 【理由 , 改革改善案へ】		□有 【理由 , 改革改善案へ】						
_									
価	☑無 【理由 】	□無 【理由 , 改革改善案へ】	☑無 【理由 】						
結		ウ本人が明保されない は、 時がいの知							
114-4	19年度は年20回の開催で十分な認	審査会が開催されないと、障がいの程	de to the state of						
果	定審査ができた。	度に応じたサービスの利用が出来なく	類似事業はない。						
未	た 田 旦 ガー C ご た。	なる。							
	[効率	生評価]	[公平性評価]						
	事業費の削減余地	人件費の削減余地	受益者負担の適正化余地						
	□ 有 【理由 , 改革改善案へ】								
	☑無 【理由 】	☑無 【理由 】	☑無 【理由 】						
	審査会開催日数を減らすことはできな	他業務と兼務し最小人数で行っている							
			受益者負担はない。						
	いので、係る経費の削減は難しい。	ためむずかしい。							
3 .	評価結果の総括と今後の方向性 アイスタイプ アイス								
(4)	1 次評価者としての評価結果	(2) 全体缀纸(塩	長り返り、反省点)						
(1)		. , ,	《り返り、及目点)						
	目的妥当性 🗸 適切 🔲 見	直し余地がある							
	有効性 ☑ 適切 □見	直し余地がある							
	·	直し余地がある							
	公平性 ☑ 適切 □見	直し余地がある							
(3):	今後の事業の方向性		(5)改革・改善による期待成果						
(0)		□ 東米 5 休 床 ↑ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	廃止・休止の場合は記入不要						
		□事業の統廃合 □目的再設定							
	□事業のやり方改善(有効性改善) [→事業のやり方改善(効率性改善)							
	□事業のやり方改善(公平性改善) [☑現状維持(従来の通りで特に改革改善しな	(11)						
(4)		当然が施り(使水の過ぎて利に以上以自 0.6	,						
(4)	改革改善案の概要		成一位上						
			果維持						
特に	たし,		* 低下						
1010	特になし								
(6)	改革改善を実現する上での解決すべき課	題と解決策							
特	になし								
_4 . 1	事務事業の2次評価結果 🔲 2 🤉	欠評価対象 ☑ 2次評価対象外							
(1)	(1) 2 次評価者としての評価結果 (2) 評価結果の根拠と理由								
(')		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •							
		直し余地がある							
	有効性 □適切 □見	直し余地がある							
I		直し余地がある							
<u></u>	公平性	直し余地がある							
(3)	今後の事業の方向性(改革改善案)		(4)改革・改善による期待成果						
ν-,	□廃止 □休止 □目的再	記定 □事業の統廃合	廃止・休止の場合は記入不要						
1									
	□事業のやり方改善(有効性改善)	■事業のやり方改善(効率性改善)	コスト						
	□事業のやり方改善(公平性改善)	□現状維持(従来の通りで特に改革改善した	ない) 削減 維持 増加						
I									
I			果維持						
			素 低下						
			1 150 1						
(5)-	その他、2次評価会議で指摘された事項								
. ,									